

# とつかボランティアセンター通信

## あなたのボランティアデビューを応援します!

とつかボランティアセンターではボランティア活動を始めたい方々のサポートをしています。1人1人の希望を伺い、講座や活動先を紹介したり、活動先と見学の調整をしたり、ボランティアデビューをする皆さんが不安のない形で活動を始められるようにお手伝いします。

### STEP1 聞く!

「ボランティアのいろは」は毎月原則10日に開催しています。ボランティア活動に関する基礎知識を学ぶとともに「助け上手・助けられ上手」カードを使った体験でボランティア活動のイメージをふくらませます!



カードゲームの様子

### STEP2 話す!

来会にてボランティア登録を行います。ボランティア登録カードの記入をもとに希望の活動内容や時間を伺います。皆さんの「得意なこと」「好きなこと」等のお話も是非聞かせてください!



ボランティア登録時の様子

### STEP3 活動へ!

事前に活動見学をしたり、初回活動にボランティアセンター職員が同行したりすることも可能です。活動後は感想や次回の予定等を皆さんに報告してもらいます。



柏尾川清掃ボランティアデビュー!

## 2020年 オリンピック・パラリンピックイヤー到来!!

東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づき、日本国内でも盛り上がりを見せていますね。戸塚区内では、様々なスポーツボランティアを募集しています。一緒に体を動かしながら、楽しい時間を過ごしませんか? また、スポーツ団体等からのボランティア募集依頼も受け付けていますので、是非とつかボランティアセンターへご相談ください。

<b>1</b> // 皆さんのご参加、お待ちしております! //	<b>2</b> <b>内容</b> 幼児～中学生対象の水泳・体操・サッカークラスでの指導、補助
<b>内容</b> 視覚障害者対象のゴルフの練習会での練習サポート (ボールの行方や飛距離を伝える)	<b>日時</b> 月～金 15:00～18:30 土 8:30～10:00 / 13:05～18:30 日 9:20～10:20
<b>日時</b> 毎週土曜日 10:00～12:00	<b>場所</b> 上倉田町
<b>場所</b> 上矢部町	<b>その他</b> 18歳～35歳の方 指導経験、スキル不問
<b>その他</b> 高校生・大学生可 ゴルフを知らない方も可	

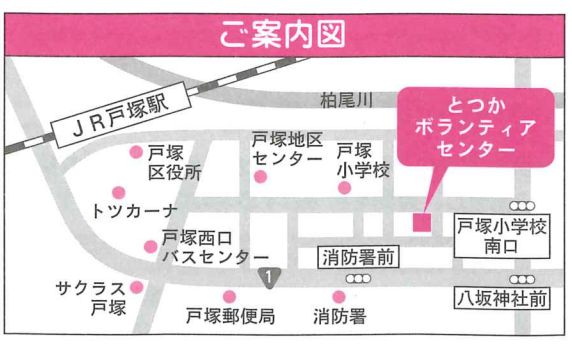
ボランティアに興味のある方、ボランティアに依頼したいことがある方、その他ボランティアに関する質問等、まずはお気軽にご相談下さい。

**とつかボランティアセンター**

窓口開設：月～土 9:00～17:00  
 ※日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

住所：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 167-25  
 戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚

TEL：045-866-8483  
 FAX：045-862-5890  
 Email: volunteer@totsukashakyo.com



「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。

2020年3月号(第76号)

発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会  
 住所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25  
 戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚  
 TEL：045-866-8434  
 FAX：045-862-5890  
 E-mail: info@totsukashakyo.com  
 http://totsukashakyo.com/

# 社協とつか

## 住民主体のまちづくり 第4弾

### 子どもの居場所づくり、広がっています!

みなさんは、「子どもの居場所」をご存じですか。子どもたちに勉強を教える学習支援や手作りのランチを提供する食支援など様々なテーマで「場」を提供している団体が区内には数多くあります。居場所は、場の提供だけではなく、そこに集う人々がつながることで、顔見知りの関係づくりも担っています。

今号では、3つの団体を社協とつか編集会議のメンバーが取材しました。取材を通して、主催者の想いや活動の様子をみなさんに紹介します。

### 学習支援 おっちー塾



中央：落合先生

時代でした。子どもたちが誰からも否定されず・攻撃されず、安心して悩みや夢を語れる場が必要であると感じ、退職後、子どもたちに「学ぶこと」「解ること」を体感することによって喜びと自信と笑顔を取り戻したいという想いを抱き、教え子(当時大学生)と共に「おっちー塾」を立ち上げました。「とつか区民活動センター」内を拠点に居場所・学びの場を提供しています。

塾名の命名やパンフ作成、HP立ち上げも全部スタッフがしてくれました。

スタッフは全員がボランティア(大学生から社会人、退職された方々まで)、おっちー塾を手伝っているのは「自分が困っていた時に温かく手を差し伸べてもらえたことが忘れられなかったから」というほっこりエピソードも聞かれました。

活動日は週3回(火・木・土)。「今日は何をする?」から始まり、勉強をする子もいれば、トランプやおしゃべりする子。子ども一人一人が自分の意思でその日の活動を決めています。子どもたちが

昨今の教育現場には教員にとって「ゆとり」がありません。日々の業務に追われ、気になる生徒(悩みや困りごと、勉強についていけない、外国と関わる子で日本語に困っている等々)が居ても、じっくり話を聴いたり、接する時間が持てないのが現状です。様々な要因で不登校に至る子どもが後を絶ちません。そんな現状に違和感を覚えたのは、落合先生が現役の教師

<b>開催</b>	毎週火・木曜日：16:00～18:00 土曜日：13:00～15:00 祝祭日はお休み
<b>活動場所</b>	とつか区民活動センター
<b>アクセス</b>	JR東戸塚駅西口 モレラ東戸塚3階
<b>参加費</b>	登録料：1,000円、会費：毎月10,000円
<b>主な対象者</b>	横浜市内在住の不登校や外国にかかわる子ども、小学校高学年～18歳程度
<b>問い合わせ先</b>	occhi_juku@yahoo.co.jp

次のページへつづく



生き生きと笑顔で過ごしている理由は、大人の考えを押し付けず、ありのままの子ども達にただただ寄り添うスタッフの姿勢です。  
 様々な体験の乏しい子ども達の為に季節のイベントや宿泊体験、社会見学などを体験する機会も作っています。  
 子ども達の情報共有の為にスタッフ・ミーティング、不登校生の保護者を地域から孤立させない為に「親の会」も開催しています。

**取材メモ** 周りと同じことをすることがゴールではない事を教えてくれるおうち一塾。子ども達も、関わるスタッフも支える保護者もみんなが「ここに居て良いんだ」と心から思える安心の場なのです。そんな優しく温かい輪が、必要としている方の心に届いて地域で繋がっていきなさいと願います。



## Caféとが



NPO法人GreenWindの事業所である「やまぶき工房」は、精神障がい者のための通所施設です。きっかけとしては、通所しているメンバーの食の向上や就労機会の提供、地域とのつながりの中で作業所を知っていただくことを目的として立ち上げました。

メニューの「まいおカレー」はフェアトレード商品のカレーの壺を使用しています。野菜を中心とし、栄養バランスに配慮したこだわりのカレーとなっています。また、区内の作業所「きゃべつ畑・窓」と連携し地産地消にも取り組んでいます。

**開催** 毎月第2金曜日、第4火曜日 10:00～14:00  
**会場** やまぶき工房(戸塚区舞岡町3438-1)  
**アクセス** 神奈中バス「舞岡」バス停より徒歩3分  
 市営地下鉄ブルーライン「舞岡駅」より徒歩10分  
**参加費** 大人 300円 子ども 100円  
 (目玉焼きトッピング+100円)  
 ドリンクメニュー コーヒー 100円 ソフトドリンク 50円  
**参加対象** どなたでも  
**問い合わせ先** caféとが 045-821-6005

### 主催者の声

Caféとがの場を誰でも安心して出入りできるような場所にしたいと思っています。「子どもに限らず、地域の方、だれもが利用できるカフェにしたい」というメンバーの思いから「子どもとか」の「とか」をフォーカスし名づけました。  
 みなさん、ぜひ気軽に来てください!

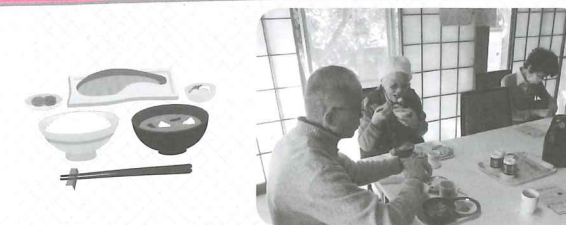
**取材メモ** メンバー主体で運営をされていることに驚き、また仕事の大切さを改めて感じました。地域の方が「まいおカレー」を通して色々な居場所があることを知ることができるといいと思いました。沢山の人たちにぜひ食べに行ってください。



学齢期の子どもの居場所(子ども食堂と学習支援)一覧のホームページを開設しました。本紙掲載団体以外にも団体活動をUPしています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.totsukashakyo.com/kodomo/>

## 平戸みんなの食堂実行委員会



地域のボランティアが中心となり子どもや高齢者、地域住民の憩いの場として、平戸地域ケアプラザにご協力をいただき立ち上げました。

住民による手作りの食事や季節に合ったメニューなど目にも楽しめる食事を提供しています。近所の小学生のファンもいて、毎月楽しみにしているそうです。また、会場のこここハウスには図書コーナーもあり食事の際に本を借りている人もいます。

**開催** 毎月1回(年10回)不定期 12:00～14:00  
**会場** 地域交流拠点こここハウス  
**アクセス** 神奈中バス「平和台」バス停より徒歩10分  
**参加費** 中学生以上300円、子ども無料  
**内容** 地域食堂  
**参加対象** どなたでも  
**問い合わせ先** こここハウス 822-7020

### 主催者の声

子どもからお年寄りまでグループでもお一人でも気軽に楽しく参加できます。ぜひ、遊びに来てください。

**取材メモ** 子ども同士、高齢者同士、家族での参加など様々な人が利用し、温かい雰囲気を感じました。空き家を利用したこここハウスには部屋数も多く、グループで食事会に参加している人もいました。みんなの笑い声と笑顔がいつかのひとときでした。

## 連載

## 福祉人材シリーズ \* 戸塚の輝くひと vol.12

### 一地域との交流はありますかー

地域との連携は当園の重点事業です。区社協が仲立ちとなって発足した「社会福祉法人と地域つながる連絡会」に、園として参加しています。幼児クラスでは介護施設に行きふれあい遊びをしたり、地域の子育て家庭を支援する「つぼみくらぶ」では、園で行われる音楽会や移動動物村等にお招きしたりしています。チラシは近隣マンションや子育て支援拠点に置いていただいておりますが、子どもたちとお散歩の際にお子さん連れの方にお会いしたら直接お渡しすることもあります。園庭開放や育児相談は随時受け入れております。

### 一保育の仕事についてー

大変なこともあります。子どもたちの年齢毎のかわいさ・成長に立ち会えることができ元気の源!この国の未来を背負う子どもたちに関われることはモチベーションにもつながります。卒園児がお父さんお母さんになって通ったり、同僚になったりと感慨深いものがあります。老若男女問わず、個性豊かな私たちと一緒にかわいい子どもたちのために働きませんか?



社会福祉法人恩賜財団神奈川県同胞援護会 戸塚愛児園  
 保育主任 (在職25年目) 藤原 有紀子さん(左)  
 主任保育士 (在職33年目) 大谷 由美さん(右)

## 善意銀行(寄付の窓口)

区民の皆様から善意の寄付(金銭や物品)をお預かりし、地域の福祉施設やボランティア団体(子ども食堂、地域サロン等)などに配分し、援助を必要とする人のために役立てています。ご寄付をご検討の方は、ぜひ本会までお気軽にご相談ください。

寄付者一覧(順不同、敬称略、4月1日～12月31日) ご寄付ありがとうございました。

MiMi、横浜東戸塚ライオンズクラブ、端山恵治、戸塚西口共同ビル管理組合、旧飛栄にれの街下倉田自治会、プリチストン労働組合、川崎 修三、戸塚フラダンスチャリティーフェスティバル実行委員会、戸塚区少年野球連盟、戸塚文化協会、戸塚ルーテル教会附属幼稚園、JA 横浜中川支店・緑園都市支店 農業まつり実行委員会、横浜商工会議所戸塚支部、六国建設株式会社